

③弥生時代の土器

弥生時代になり稲作が普及すると、さまざまな用途の土器が作られます。特に、調理に使用したり、食料を貯蔵するための壺や甕などが遺跡から多く見つかっています。これらの土器の中には、表面に煤や、ふきこぼれた痕などの、煮炊きに使用した痕跡が残っているものもあり、人々のくらしの一部を今に伝えています。

鳥栖市で出土する土器の中には、他地域で作られた土器に似た形や、作り方などを見ることができものがあ、交流が活発であったことがうかがえます。

また、日常で使用する土器の他にも、祭祀で使用する土器も多く見つかっています。これらの土器は、赤く塗られていたり、きれいに磨かれていたりしています。多くは、まつりをおこなった場所から見つかっています。

展示資料について



- ①壺：食べ物などを貯蔵するための容器
- ②甕：食べ物などを貯蔵、調理するための容器
- ③高坏：供え物をするための器